

INAXガレリアセラミカは“新鋭作家による新しいやきものの表現の場”として企画展を開催しています。

みきようこ  
三木陽子展

“PET SHOP” installation of ceramics 現実と地続きのファンタジー

会期 = 2010年10月8日(金) ~ 11月4日(木)

休廊日 = 日曜・祝日

開館時間 = 午前10:00 ~ 午後6:00

作家によるアーティスト・トーク開催 = 10月8日(金) 午後6:30 ~ 7:00

会場 = INAXガレリア セラミカ

東京都中央区京橋3 - 6 - 18 INAX:GINZA2F TEL03-5250-6530

企画・制作 = 株式会社INAX

入場無料

INAXの文化活動ホームページアドレス<http://www.inax.co.jp/culture/>



Chihuahua / H330×W220×D190mm / 2010 / ceramic / Photo:Hiroshi OHNO

\* 本展告知以外での使用、転載を禁じます。ご使用に際しては撮影者名をお入れください。

\* 容量が足りない場合および、その他の写真については、担当者までお問合せください。

【メール】hideko.hasegawa@i2.inax.co.jp 【担当】長谷川英子

INAXガレリアセラミカでは、三木陽子(Miki Yoko)展 “PET SHOP”installation of ceramics 現実と地続きのファンタジー を開催します。(2010年10月8日～11月4日)

顔のついたドアノブ、犬の頭につながる配管、生きもののようにくねるチューブ、クッションに宿る子どもの顔、古い建物のタイルに浮かぶねずみ、横たわる部品のような奇妙なもの…三木陽子のモノトーンの陶のオブジェで統一された世界は、端正で静けさの中に沈んでいるようです。

でも、ひとつひとつのディテールに気がついた時、驚きと同時に、此处ではない何処か他の場所に入り込んでしまったような、微かな恐怖を憶える迫力あるインスタレーションです。

陶で制作を続ける彼女は「素材の土に触れた時、同時に自分の内部も感じます。触覚は、外部と内部、無意識と意識を結びつける根源的な感覚であり、私にインスピレーションと力を与えてくれます。」と語っています。

1963年生まれの三木陽子は1980年代のクレイワーク時代を経て、工業製品と動物や人体の一部が組み合わさった独特の陶のオブジェで空間を構成する作品を制作しています。

特に「TUBE LIFE」などの展覧会に登場するチューブのイメージを展開させたオブジェ群は、工業配管や胎内にある血管の、生命の供給や排除の象徴として用いられ、他の作品とともに暗喩や寓意をもつモチーフとして数多くつくられています。

そして異界への入り口として、好奇や恐怖の感情を配管や排水口に被せ、日常存在しているにもかかわらず見えない世界への誘いを表現しています。ふと、誰かが見ているような気配に振り返っても、そこにはいつもの見慣れたものや壁があるばかりといった、誰もが経験している日常のささやかな不思議体験や、彼女が好きなスティーブン・キングなどのホラー世界のイメージから、こうした世界を紡ぎあげています。

過去の展覧会「Kitchen」では食べる行為による生と死を表現した展示を行い、昨年の「耳枕」では眠りをテーマにした展覧会を開催しました。常に陰と陽の相反する世界の境界をつくり続けてい三木は、今展では「PET SHOP」を題材にインスタレーションを行なう予定です。ぜひ会場でご覧下さい。

#### 同時開催

ギャラリー1『夢みる家具-森谷延雄の世界-』展 開催中～11/20 日祝休廊

ギャラリー2『石塚沙矢香 かけらはただよひ』展 10月9日(土) - 10月29日(金)

#### 次回予告

ガレリアセラミカ 『桑名沙衣子展』 10月8日(金)～11月4日(木)

## 「三木陽子プロフィール」

- 1963 兵庫県生まれ  
1986 大阪芸術大学芸術学部工芸学科陶芸専攻卒業  
1988 大阪芸術大学芸術学部芸術専攻科工芸専攻修了  
2001～ 大阪芸術大学芸術学部工芸科陶芸コース非常勤講師

### [個展]

- 1988 ギャラリー白 (大阪) / '90  
1993 ギャラリーマロニエ (京都) / '95,'97  
2002 ギャラリータフ (京都) / '06  
2005 ヴォイス・ギャラリー-psf/w (京都) / '07  
          ストリートギャラリー (兵庫)  
2008 麻布十番ギャラリー (東京)  
2009 ギャラリー揺(京都)

### [主なグループ展]

- 1985 BOX MAKER'S SHOW (ギャラリーView, 大阪) / '86,'87  
          3人展 (ギャラリーピクチャー, 大阪)  
          NEW FACE展 (ギャラリーView, 大阪)  
1986 ハートWAパラダイス展 (ギャラリーView, 大阪)  
          2人展 (ギャラリー白, 大阪)  
          TO展 (アトリエ西宮, 兵庫)  
1987 うねりのモーメント (HOT STUDIO, 大阪)  
1988 -EMON・OSAKAジョイント展- (福岡市美術館,福岡)  
1991 YOHEN-俑変-妖変 (ギャラリー白, 大阪)  
1993 ETO展 (守口京阪百貨店, 大阪) / ('93～'05)  
1994 FACE TO FACE (ギャラリーココ, 京都 )  
          ミニアチュール1994 (ギャラリーココ, 京都) / '95  
1996 12日間の小品展 (ギャラリータフ, 京都)  
1998 -FUKUSUKE- (ギャラリーにしかわ, 京都)  
1999 兎うさぎ何みて跳ねる展 (ウエストベスギャラリーコヅカ, 名古屋)  
          ザ..オマモリ展 (ギャラリーマロニエ, 京都) / '00  
          PRIN RECORD展 (SUMISO, 大阪) / '00  
2001 THE BAG 街を歩くアート (ギャラリーにしかわ, 京都)  
          喫茶思考 (近鉄阿倍野百貨店, 大阪)  
2002 ふたのあるかたち(ギャラリーにしかわ, 京都)  
2004 stay with art ～境界線～ (HOTEL T'POINT, 大阪 )  
2005 multiple market(ヴォイス・ギャラリー-pfs/w, 京都)  
          美の冒険者たち - 大阪芸術大学造形系学科教員作品展 (アートコートギャラリー, 大阪) / '06  
          shopping art exhibition (「shin-bi」, 京都)  
2006 art in transit (ザ・パレスサイドホテル, 京都)  
2007 フタのあるカタチ展(多治見市文化工房 ギャラリーヴォイス, 岐阜)  
2009 アジア現代陶芸 新世代の交感展(愛知県陶磁資料館, 愛知)  
          韓日米 青年作家交流展 - 逍遙遊 - (韓国工芸文化振興院, ソウル.韓国)  
2010 「蛙、はねる、水無展」～アーティストによるカエルコレクション～ (阪急うめだ本店,大阪)

### [公募展]

- 1986 朝日現代クラフト展 (東京, 大阪)  
          八木一夫賞現代陶芸展'86 (京都, 大阪) / '87  
          第1回 国際陶磁器展美濃'86 (岐阜)  
2004 公募 京都芸術センター2004 "How would you make the world better? " (京都)